

「第6期大樹町総合計画(素案)」についての意見募集結果

「第6期大樹町総合計画(素案)」について、町民の皆様からご意見を募集したところ、5名の方から9件の意見が寄せられました。ご意見の要旨及びご意見に対する町の考え方は次のとおりです。

○意見に対する町の対応

対応区分	対応方針	件数
A	意見の趣旨が計画へ反映されたもの	0
B	町政全般や個別具体的取組に対する意見であり、今後の事業推進にあたって参考とするもの	8
C	意見として承るもの	1

番号	意見の内容	意見に対する町の考え方	対応区分
①	<p>道の駅をもっと人が集まる空間にして、旅の目的地となるような施設に変えてほしいです。</p> <p>地域のグルメを味わえるのが道の駅のイメージだったので、それがないのがすごく残念です。フードコートのような空間があって、なおかつそこでしか食べられない限定ものがあれば、自然と人は集まると思います。お子様メニューだったら宇宙カレーなど、SNS に載せたくなるような見た目のメニューを考案してはどうでしょうか。</p> <p>また、子どもが遊べる空間もさらなる拡大を希望します。10年ほど前に、初めて大樹町に来た時に、そこがなくすごく残念だったので、リニューアルして地域活性に繋がったら良いと思います。</p>	<p>本計画書では、基本計画の「3-5 観光」の施策と取組内容の「④ 「道の駅」の機能充実」において、「■道の駅の魅力向上に向けて協議会を設置し、対策を検討します。」、「■道の駅の機能充実を図って、更なる利活用の促進に努めます。」としております。</p> <p>具体的な取組内容については、今回いただいたご意見等も踏まえ、町内関係者で構成する協議会を設置し、対策を検討していくこととしており、町民の皆様をはじめ、町外からの利用者にも魅力的な道の駅となるよう、機能充実を図ってまいりたいと考えております。</p>	B

番号	意見の内容	意見に対する町の考え方	対応区分
②	<p>仕事をきっかけに、大樹町に移住して2年目の20代です。冬に開催された雪合戦大会に会社のメンバーと参加し、すごく楽しませていただきました。会社のメンバーと仲を深める良い機会になりましたし、地元の方たちとの交流もできて充実した日でした。特に、同年代の若者がこんなに大勢いたのかとびっくりしました。</p> <p>このような町民参加型のスポーツイベントをもう少し増やしていただけないでしょうか。野球大会やサッカー大会、運動会やスピードスケート大会、ミニバレー大会など、本州から来た者にとって、各シーズンで全く異なるスポーツを楽しめることは大樹町の魅力ですし、各施設の充実度にもとても感心しております。ぜひよろしく願いいたします。</p>	<p>本計画書では、基本計画の「2-3 スポーツ」の施策と取組内容の「① スポーツ活動・プログラムの充実」において、「■住民の目的やニーズに応じたプログラムの提供を通して、住民がスポーツ活動に参加できる機会の拡大を図ります。」「■地域での定期的・継続的なスポーツ活動を推進することにより、スポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。」としております。</p> <p>町民参加型のスポーツイベントについては、各協会主催で開催されております。町としては、町主催のイベントというより、町民主導でイベントが企画運営され、スポーツを通じた交流を楽しんでいただくことが望まれるので、関係団体と連携しながら、必要な支援を講じてまいりたいと考えております。</p>	B
③	<p>パラパラッと見てやっぱり固くて、なかなか読む気が湧かないと思いました。私は、この計画書を読んで、総論あって各論なしと感じました。</p> <p>まちづくりの理念や考え方については、良く書かれていると思いますが、そのことを実現させるための具体的な方策が書かれていないことが残念です。私をはじめ、一般町民は「こう在るべき」よりも、「こうします」を求めています。今後10年間で、町長が何を、いつ、どうしようと考えているのかをこの総合計画で知りたいのです。</p> <p>各論については、今後実施計画の中でと言うのかもかもしれませんが、その実施計画がいつ、どんな形で作られるのか分かりません。私は、今後ではなく、策定審議会で審議してもらい、この総合計画の中に組み込み、その結果の答申を受けるべきだと思います。せめて前期実施計画だけでもそうすべきです。もしも予想される12月議会で議決を得るには時間がないと考えているのであれば、その次の令和6年3月の議会でも良いのではないですか。急ぐ必要はないと思います。</p> <p>せっかくの「まちづくり総合計画」です。一般町民にも理解しやすい「第6期大樹町総合計画」を作ってほしいと思います。書いてある内容や文章には、意見を申し上げることはありません。良くできていたと思いました。</p>	<p>本計画は、令和6(2024)年度からの10年間を見通した住民活動と町政運営の指針となる、まちの最上位計画であり、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されております。</p> <p>本計画書では、序論の「4 総合計画の構成と期間」において、「基本構想」は、本町の特性、住民のニーズ、時代の潮流、直面している課題等を検討し、これらを踏まえて、将来像や基本目標等を示すもの、「基本計画」は、基本構想で定める施策の体系に基づき、今後取り組むべき主要な施策を各分野にわたって定めるもの、「実施計画」は、基本計画に掲げる施策に基づき、具体的に実施する事業を展開する上で、事業の優先順位や具体的な事業内容、財源等を示すものとしております。</p> <p>実施計画については、審議会への諮問事項となっておらず、それぞれの個別計画等も踏まえた上で各担当課において現在作成を進めているところです。</p> <p>なお、本計画の進行管理については、毎年度、住民参画のもとでローリング方式により評価・見直しを着実に進めていくこととしており、町民の皆様にもわかりやすい形でお知らせしてまいりたいと考えております。</p>	C

番号	意見の内容	意見に対する町の考え方	対応区分
④-1	<p>いつも町民のために尽力していただき、ありがとうございます。子連れで利用していると考えることがあり、意見を投稿させていただきました。</p> <p>大樹町は人口増加しているとのことですが、人口が増えたその先はどうお考えでしょうか。雪印メグミルク(株)やインターステラテクノロジズ(株)などの企業のおかげで、人口増加しているのだと想像しています。そうすると働く世代、つまり子育て世代が増えているのではないのでしょうか。もっと子育て世代にも目を向けてほしいと思います。</p> <p>働く子育て世代にとって、とても重要になってくるのが保育園です。入園希望者に対して、保育士が不足しています。未満児は特に預けづらい状況が続いており、途中入園は定員を超過しているため、かなり厳しいです。また、認定こども園たいきは、独占状態であるため強気な対応で、父母会も機能しておらず、外部からの意見を寄せ付けないような体制になってしまっています。</p> <p>もちろん保育士の業務の大変さは理解しているつもりですし、業務軽減が必要なことも理解しているのですが、買い物はお迎え前にしないこと、土曜日に子どもを預けたなら平日に必ず休ませること、親の手がどちらかでも空いているのであれば家で過ごすか早く迎えに来ることなど、保護者の支援が保育園の役割だとすると、あまりにも厳しすぎるのではないかと感じます。ホッと一息つく時間さえ、罪悪感やかなりのプレッシャーを抱えている保護者も少なくないため、町に間に入ってもらい、体制を整えていただきたいです。町としては、現在の認定こども園たいきについて、どのように感じているのでしょうか。また、保育士の不足について、具体的な対策はあるのでしょうか。</p> <p>保育園に協力できるところは保護者としても協力したいと思いますので、保護者の事情への理解や要望を取り入れてもらえる仕組みにするなど、お互いに協力できる体制になってほしいと考えます。なお、この意見は、保育士を否定するものではありません。わが子が笑顔で行って帰ってくること、我々保護者が働けること、どちらも保育士なしでは叶いません。いつもありがとうございます。</p>	<p>本計画書では、基本計画の「1-2 子育て支援」の施策と取組内容の「② 幼児教育・保育の充実」において、「■子どもたちが豊かな体験から個々の発達を促すことができる質の高い教育・保育を提供するとともに、待機児童ゼロを維持するよう努めます。」「■潜在的人材の発掘や各種研修の実施・参加等に積極的に取り組むことで、保育教諭の確保・定着や資質の向上を図ります。」としております。</p> <p>ご指摘のとおり、子育て世代に配慮し、子育てしやすいまちづくりを進めていくことは、重要な課題であると認識しており、必要な環境整備を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>認定こども園たいきの対応については、現場の状況を確認しながら、利用者目線を基本に誰もが利用しやすい環境となるよう、お願いしてまいりたいと考えております。</p> <p>また、保育士の確保については、なかなか難しい課題ではありますが、潜在的人材の発掘や各種研修の実施・参加等に積極的に取り組むことで、体制を整えてまいりたいと考えております。</p>	B

番号	意見の内容	意見に対する町の考え方	対応区分
④-2	<p>図書館は、間借りの状態であるため、本来の機能を発揮できていないのではないかと思います。「ゆっくり落ち着く」、「集中する」、「楽しく本を読む」、どの空間にもなれていないように感じます。</p> <p>児童図書エリアにはカーペットが敷いてあるのみで、ゆっくり楽しく本と触れ合える空間にはなっていないように感じます。小さな子どもには土足禁止が分かりづらく、土足のまま入ってしまったり、逆に靴を履かずに出てしまったりしています。部屋全体が靴を脱いで入れるようにしたり、キッズスペースのように空間を仕切ったりするなどして、乳幼児と利用しても使いやすくなるかと嬉しいです。子どもと一緒にだと親が読みたい本まで探したり読んだりできないので、一緒でも親子でゆっくり本を読める場所になってほしいです。</p> <p>私自身が経験したり、他の保護者から聞いたりしたこととして、職員が小さな子どもにあまり優しくなく、厳しい、怒られる、言い方がきつい、子連れで行くには気を遣うなどがありました。生涯学習センターの共用通路で子ども達がはしゃいでしまい、玄関のドア付近で少しうるさくしてしまった際、すかさず図書館の職員が出てきて子ども達に注意したとのことでした。親からも子ども達には注意をしており、迷惑をかけたら申し訳ないとも思っていたそうですが、図書館を利用していたわけではなく、あくまで生涯学習センターを利用して外に出るまでの出来事だったとのことでした。生涯学習センターの一角に図書館があるというあの空間が、どこからが図書館でどこからがそうでないのかの線引きが難しいこと、図書館がやっているのかそうでないのかが分かりづらいことなども要因の一つだと思います。</p> <p>また、カウンターに飾ってある子どもが触りたくなるようなものに近づくと「危ない」「やめて」、小学生が読んだ本を戻そうとしたら「(消毒したいから)戻さないで」など、手間を増やしたり、業務の妨げになったり、図書館では静かにしなければならなかったりという理由も分かりますが、時々誰のための図書館なのだろうと思うことがあります。子どもにもよりますが、保護者の注意や教育だけでコントロールできるものでもないため、もう少し柔らかく接してもらえるとありがたいです。</p> <p>図書館は、生涯学習センターに間借りしたままで本当に良いのでしょうか。間借りしている状態から早く環境を整えるべきではないのでしょうか。今ある建物を新しい形に利用することも検討しながら、もう少し子ども目線にもなって、どの世代にも利用しやすくしてほしいです。</p>	<p>本計画書では、基本計画の「2-2 社会教育」の施策と取組内容の「① 社会教育施設の充実」において、「■図書館のあり方について検討するほか、利用者の利便性向上に努めます。」、「② 学習機会の充実」において、「■図書館、学校等が連携して子どもや若者の読書活動を推進するとともに、誰もが読書を身近に感じられる仕組みづくりを進めます。」としております。</p> <p>図書館のあり方については、現在の生涯学習センターへの間借りの状況からは改善したいと考えており、今後本格的に協議を進め、改築を含めた結論を早期に示したいと考えております。</p> <p>また、図書館の職員の対応については、今回いただいたご意見等も踏まえ、誰もが利用しやすい環境となるよう、改善に努めてまいります。</p>	B

番号	意見の内容	意見に対する町の考え方	対応区分
④-3	<p>雑草が伸び放題だったり、きのこが生えていたり、遊具が錆びていたりするため、子どもを安心して遊ばせることができないので、公園を整備してもらいたいです。せめて、園児が利用する公園だけでも整備してほしいと思います。町内には、いくつか公園がありますが、遊具の対象年齢に偏りがあるため、兄弟がいる家庭が安心して遊ばせられなかったり、1カ所の公園だけで満足に遊ばせられなかったりしています。特に3歳以下の子ども向けの遊具が少ないので、低年齢層にも安心して遊べる遊具を設置してほしいです。</p> <p>大樹町は肥満児が多いとのことですので、公園等の思い切り遊べる場所を整備することで、子ども達の健康にもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>町としては、公園を充実させることについて、どのように考えているのでしょうか。公園等を充実させることで、町外からやってくる家族が飲食店や道の駅を利用し、大樹町にも経済的な効果があると考えますが、どのように考えているのでしょうか。</p>	<p>本計画書では、基本計画の「4-6 公園・緑地」の施策と取組内容の「① 公園の整備、維持管理」において、「■にぎわいや交流機会の創出と誰もが安心して利用できる公園を目指し、公園の特性やユニバーサルデザインに配慮した整備を推進します。」、「■地域の住民にとってより愛着が感じられる空間となるよう、住民と協働で維持管理に努めます。」としております。また、施策の達成度を測るための指標において、公園新規・再編整備件数の目標値を2件と設定しております。</p> <p>ご指摘のとおり、誰もが安心して利用できる公園を目指していくことは、重要な課題であり、特に子育て世帯にとっては、喫緊の課題と認識しております。公園の整備等については、現在、「みどりの基本計画」の策定において適正配置や統廃合等の再編も視野に入れて検討を進めているところです。公園が充実することで、日常生活が少しでも豊かになること、また、多世代に利用されることで人とひとがつながる新しいコミュニティが生まれることにも期待し、公園の整備等に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	B

番号	意見の内容	意見に対する町の考え方	対応区分
④-4	<p>屋内遊具施設に似たような施設として、子育て支援センターがありますが、入園した子どもは遊べず、兄弟での利用はできません。また、土日祝日も利用できません。屋内遊具施設ができることによって、季節や天候に関係なく兄弟でも遊ぶことができるほか、近隣地域にはないため経済的な効果も期待できます。</p> <p>道の駅コスモール大樹にもキッズスペースができましたが、親子のニーズに合っているのでしょうか。コープさっぽろに買い物に来たついでに寄ってもらいたいのか、町外からの観光客に遊んでもらいたいのか、キッズスペースを目的に来てもらいたいのか分かりません。町の管轄ではないと思いますが、誰にどういった利用シーンで使ってもらいたいのか明確ではないため、中途半端だと感じます。以前、キッズスペースにあった滑り台がある方が良かったという声も多数聞いています。おもちゃの対象年齢もかなり小さな子ども向けのようなので、兄弟での利用はなかなか厳しく、利用シーンが限られてしまっているように感じます。今後、拡大予定とのことですが、子育て世代としては満足いくものではないので、親子目線でつくられた屋内遊具施設を町に検討してほしいです。</p> <p>新しく建設することが難しいのであれば、旧大樹北保育園などの今ある建物の活用を考えてもらいたいです。また、生涯学習センターにある保育室をそうした施設に充てるのであれば、小さな子ども向けのおもちゃを充実させたり、暖房器具に安全対策を施したりして活用してもらいたいという声も聞いています。どちらも今は物置になっているように感じますので、活用できるのであれば、おもちゃや遊具を充実させて安全にも配慮した空間にしてほしいです。</p> <p>町としては、屋内遊具施設をつくることについて、どのように考えているのでしょうか。屋内遊具施設を望んでいる保護者が多くいると感じますが、新設または既存の建物を利用する予定はあるのでしょうか。</p> <p>大樹町の子育て事情を今一度見直し、せっかくの人口増加を一時的なものにせず、長く住んで愛着を持って生活できるまちにしてほしいです。一方的な要望を書かせていただきましたが、様々な課題を一緒に乗り越えていきたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>	<p>本計画書では、基本計画の「1-2 子育て支援」の施策と取組内容の「② 幼児教育・保育の充実」において、「■子どもたちが安全安心な生活を送ることができるよう、施設・設備の整備、防犯・防災の安全対策を進めます。」としております。</p> <p>本計画の策定にあたって開催した子育て世帯との団体懇談会や住民懇談会等においても、季節や天候に左右されずに利用できる屋内の子どもの遊び場を求める声を聞いております。</p> <p>ご指摘のとおり、大樹町商工会が町の補助金を活用して、道の駅に屋内の子どもの遊び場の整備を開始しており、今後も拡張整備する予定と聞いており、さらなる環境改善が図られるものと考えております。</p> <p>また、先に開催された高校生議会においても、屋内の子どもの遊び場に関する質問を受けており、旧大樹南・北保育園の後利用や大樹町経済センター2階多目的ホールの利活用等も含めて検討してまいります。</p>	B

番号	意見の内容	意見に対する町の考え方	対応区分
⑤-1	<p>南十勝こども発達支援センターでは、通所している子どもの数が増加しており、面談から入所するまでに数カ月待たなければならないので、もう少し早く入所できるような体制を整えてほしいです。また、職員数を増やして月に通所できる回数を今よりも増やしたり、医師や心理士等の専門家の常駐は難しくとも、年に数回、保護者が相談したり、子どもの様子を診てもらふ機会を設けたりしてほしいです。児童デイサービスに通うためには帯広市まで行かなくてはならず、現実的に大樹町から通うのは困難だと思います。大樹町だけでは難しくとも、南十勝で連携して通いやすい場所をつくってほしいです。</p>	<p>本計画書では、基本計画の「1-2 子育て支援」の施策と取組内容の「⑤ 支援が必要な子ども・家庭への支援」において、「■子どもの障がいの程度や発達段階に合わせた療育の場を確保し、継続的な支援を行うとともに、関係機関との連携により、障がいの早期発見、早期療育に取り組みます。」としております。</p> <p>南十勝こども発達支援センターの相談支援体制については、現場の状況を確認しながら、南十勝4町村で連携・協力し、更なる充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、児童デイサービスについては、住民のニーズや対象者数等の状況を把握するとともに、広域的な共同運営の可能性も含めて検討してまいりたいと考えております。</p>	B
⑤-2	<p>大樹町柏林公園や大樹中央運動公園は、広くて自然豊かな良いところであるのに、ごみが落ちていたり、遊具に鳥のフンがたくさんついていたりして、子どもを遊ばせるには不衛生に感じてしまいます。せっかく良い公園があるので、清掃や遊具の点検をして、もっと町民が利用できるようにしてほしいです。新しい公園をつくるのも良いですが、すぐには難しいとも思いますので、今ある公園をもっと活かすことも考えた方が良くと思います。</p>	<p>本計画書では、基本計画の「4-6 公園・緑地」の施策と取組内容の「① 公園の整備、維持管理」において、「■にぎわいや交流機会の創出と誰もが安心して利用できる公園を目指し、公園の特性やユニバーサルデザインに配慮した整備を推進します。」「■地域の住民にとってより愛着が感じられる空間となるよう、住民と協働で維持管理に努めます。」「■老朽化遊具の計画的な更新に取り組みます。」としております。</p> <p>総合計画策定審議会の生活環境部会においても同様のご意見をいただき、公園新規・再編整備件数の目標値2件の設定と既存公園の老朽化遊具の計画的な更新を計画に位置付けております。日常的な遊具の点検・清掃は、月に2回ほど実施しているところですが、衛生面にも配慮しながら適正な維持管理に努めてまいりたいと考えております。</p>	B